

特集

鳥取県西部地震から10年

# 忘れかけてはいませんか？



東町地区

平成12年10月6日午後1時30分頃、「鳥取県西部地震」が発生しました。地震の規模を表すマグニチュードは7.3、震度6弱という今までに誰もが経験をしたことのない大地震でした。

幸いにも火災や亡くなられた方はありませんでしたが、家屋をはじめ公共施設、道路、河川、農地、農業施設など甚大な被害を受け多数の町民の方々が被災者となりました。

今年で鳥取県西部地震発生から10年の節目を迎えることから、鳥取県では9月・10月を「地震防災力強化月間」と位置づけ、地震防災に関する意識啓発事業を集中的に実施しています。

現在では、震災を経験していない世代が成長し、徐々にその記憶も薄れつつあるように思われます。震災の経験や教訓が風化しないように、我々が次世代に伝えていく取組みが必要です。



会見小学校門柱



給水車より水の供給をうける住民



法勝寺中学校にある町営グラウンド